

健康テラス

がんばれ! にっぽん! コロナに負けるな!!

もやもや病について

もやもや病は脳血管疾患の一つです。内頸動脈という太い脳血管が頭蓋骨の中に入ったところで狭くなり、その血流を補うように周囲に細い血管がたくさん作られた状態です。血管撮影で湯気がたちこめたように、もやもやと写ることから名づけられました。日本語の病名が世界でも一般的になっています。

原因は不明ですが、一部では遺伝子の変異と言われていています。アジア系の人種に多い病気です。子供の時に発症することも、成人後に発症することもあります。やや女性に多くみられます。

発症は脳血流の不足による虚血型と細い血管への負荷による出血型があり、虚血型では脱力発作、片麻痺、けいれん、不随意運動、出血型では突然の強い頭痛、意識障害、片麻痺などがみられます。

治療は臨床症状や、脳や血管の状態をみて決めます。抗痙攣剤などの薬剤を処方し、経過観察としたり、手術を

検討したりします。手術は血行再建術を行います。これにより不足の血流を補い、弱った血管への負担を減らします。

一過性脳虚血で発症した場合は、適切な治療を受けると、予後は良好ですが、大きな脳梗塞や脳出血が起こると障害が残ります。



森の木脳神経脊髄外科
古賀 久伸 先生

舌下免疫療法について

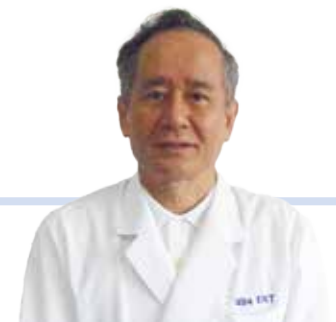
アレルギー性鼻炎には、スギ・ヒノキなど、季節の花粉が原因(アレルゲン)になって起こる季節性アレルギーとダニ・ハウスダストなどが原因となる通年性アレルギー性鼻炎があります。アレルギー性鼻炎の鼻汁、鼻づまりなどの辛い症状は、集中力の低下、思考力の低下を引き起こす一因となり、日常生活で悪影響を及ぼしかねません。治療としては主に内服薬(抗ヒスタミン剤)の内服や点鼻薬などで行いますが、最近新しい治療法として舌下免疫療法が出てきました。

この舌下免疫療法とは、アレルゲンを長期に渡って舌下に少量投与する事で、身体をそのアレルゲンに慣らし、根本的に体質を少しずつ変えていく治療法となります。そのため、内服薬の減薬・中止が出来る可能性があります。現在日本では、舌下療法がスギ・ダニの2種類あります。治療期間としては3~5年続行していくことが推奨されます。またアレルゲンを投与するため、それに対する副反

応(口内の腫れ、痒みなど)や、ごく稀にアナフィラキシーショックを起こすことがあります。

開始する流れとして、①アレルゲンの確定診断のために採血を行う。②スギやダニのアレルゲンがあることを確認した後、舌下療法についての詳しい説明を受ける。③開始初回は院内で行う、となります。

ご興味ある方は、耳鼻咽喉科へご相談されてみてください。



馬場耳鼻咽喉科医院
馬場 正明 先生